

牛にまつわる小嘶

今年、「第一回全国ヨーダルトサミット」が小美玉市で開催されました。

小美玉市は全国有数の酪農地域として知られ、市内各所には多くの乳牛が飼育されています。

牛は馬とともに農耕・運搬に役し、また堆肥のため、大正・昭和になると飼われるようになりました。人と牛の関わりの一例として、米作りが挙げられます。耕耘機などの機械がなかった時代、犁を牛や馬にひかせて田を耕し、馬鍬を使って掘り起こした田の土を細かく碎きました。これらの農具は昭和の時代まで使われました。また、古民家の中には馬の厩があるものがみられます。牛や馬も家族の一員とされていたことが窺い知れます。



標も兼ねており、牛や馬に感謝をささげたとともに、道ゆく人をみちびくしるしだつたとされています。馬の供養や無病息災の祈願をこめて造立された馬頭観音に対し、牛馬観世音はあまりみられません。

健やかな成長を祝う「七つの祝い式典」を開催しました



11月8日、小川文化センター（アピオス）において、来春新1年生になる市内の児童406名と保護者を招待した「七つの祝い式典」を開催しました。

式典では、市長からお祝いのことばが述べられ、その後、記念品のランドセルが代表児童2名に手渡されました。

また、式典終了後には、記念行事の児童劇「ピノッキオ」や歌のお姉さんとぬいぐるみ達による愉快なショーが繰り広げられ、子ども達の歓声が響いていました。



有料広告 募集中！

詳しくは、Webまたは
下記問い合わせ先へ
Webは「有料広告」で検索
☎: 0299-48-1111 内線 1213
(秘書政策課 広報広聴係)



有料広告 募集中！

詳しくは、Webまたは
下記問い合わせ先へ
Webは「有料広告」で検索
☎: 0299-48-1111 内線 1213
(秘書政策課 広報広聴係)